

施策マネジメントシート

施策名	行政評価施策体系	男女平等と男女共同参画社会の実現	施策統括課	市長室	氏名	松田周平
政策名		ひとが生きる・暮らす	施策関係課			

1 施策の目的と指標

対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等

・市民
・事業者

対象指標(対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない

名称	単位
ア 人口	人
イ 事業者数	事業者
ウ	
エ	

意図(対象をどう変えるのか)

あらゆる機会、男女共同参画が確保される

成果指標(意図の達成度の指標) 数字は記入しない

名称	単位
ア 男女平等が確保されていると思う市民の割合(男性)	%
イ 男女平等が確保されていると思う市民の割合(女性)	%
ウ 様々な社会参画の機会に男女の比率が適切になっていると思う市民の割合	%
エ	
オ	

2 第2次基本計画期間(平成23～27年度)内における取組内容

体系	具体的な取組内容
男女平等の拠点づくり	学習機会の更なる提供を行います。
男女平等観点に立つ人間形成を進める教育学習の充実	教育委員会が作成する「男女平等教育指導手引」に基づき学校教育を実践します。
あらゆる分野への男女平等参画の推進	「国立市第四次男女平等推進計画」に基づき女性委員登用を推進します。
職場における男女平等の実現	パート・派遣労働者の労働条件を明記したパンフレットの発行・活用を行います。
男女平等の視点に立った性の尊重	ドメスティック・バイオレンス(DV)に対する意識の醸成と被害者の保護・支援を行います。

3 総事業費・指標等の実績推移と目標値

		単位	数値区分	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	
対象指標	ア 人	見込み値										76,000	
		実績値		73,563	73,803	74,251	74,329	74,432	74,265	74,381			
	イ 事業者	見込み値					2,820	2,820	2,820	2,640			
		実績値		2630(H18)		2,820							
	ウ	見込み値											
エ	見込み値												
成果指標	ア %	成り行き値					45.6	45.6	45.6	45.6	45.6	45.6	
		目標値				46.3	47.0	47.7	48.4	49.1	50.0		
		実績値				45.6	59.6	50.5	45.1	45.4			
			基本計画における施策の目標設定の根拠		第2回国立市市民意識調査で、「男女平等が確保されていると思う」と回答した市民の割合が、男性・女性ともに半数に達することを目標としました。								
	イ %	成り行き値					27.1	27.1	27.1	27.1	27.1	27.1	
		目標値				30.9	34.7	38.5	42.3	46.1	50.0		
		実績値				27.1	42.1	34.8	34.1	32.0			
			基本計画における施策の目標設定の根拠		第2回国立市市民意識調査で、「男女平等が確保されていると思う」と回答した市民の割合が、男性・女性ともに半数に達することを目標としました。								
	ウ %	成り行き値					30.0	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0	
		目標値				30.1	30.9	31.7	32.5	33.3	35.0		
		実績値		30.1		29.8	31.3	35.0	32.2	29.9			
			基本計画における施策の目標設定の根拠		第2回国立市市民意識調査時、男性の34.1%が「適切だと思う」と回答していることから、男女全体の回答割合が男性の回答割合を超えることを目標としました。								
エ	成り行き値												
	目標値												
		基本計画における施策の目標設定の根拠											
オ	成り行き値												
	目標値												
		基本計画における施策の目標設定の根拠											
事務事業数		本数		3	2	2	2	2	2	1			
施策コスト	財源内訳	国库支出金	千円										
		都道府県支出金	千円										
		地方債	千円										
		その他	千円										
		一般財源	千円	38	42	88	585	53	90	81			
	事業費計(A)	千円	38	42	88	585	53	90	81	0	0		
人件費	延べ業務時間	時間	140	140	360	360	360	360	140				
	人件費計(B)	千円	700	700	1,800	1,800	1,800	1,800	700				
トータルコスト(A)+(B)		千円	738	742	1,888	2,385	1,853	1,890	781	0	0		

4 施策の現状

(1) 施策を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか?

男女平等の意識醸成と拠点づくり、防災分野等の分野等への男女共同参画の促進、職場における採用や管理職登用における女性割合の向上、更にはDV被害者支援対策など、今後2015(平成27)年度までに計画のさらなる達成を目指すことが必要な状況にある。また、DV被害者支援については、平成19年の「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律」の改正により、市町村の基本計画策定に関して努力義務が課されるなど被害者支援に対するより一層の取り組みが求められており、当市においても被害者支援について全庁的な体制整備が求められている。

(2) この施策に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?

- ・計画に基づく施策の実行性の担保及び施策の積極的な展開を期待する。
- ・男女平等推進条例(仮称)の設置してもらいたい。
- ・配偶者暴力防止センターを設置し、配偶者暴力防止に係る基本計画を策定してもらいたい。

5 25年度の評価結果

(1) 施策の取組状況

25年度行政経営方針	取組状況
	昨年度までの取り組みに加え、新たに国立市、小金井市、狛江市の3市により、事業期間3年の予定で多摩3市男女共同参画推進共同研究会を立ち上げ、初年度はワークライフバランスについて研究を行った。

(2) 施策の成果実績把握と評価

成果指標目標値達成度(目標値と実績値との比較)

成果指標ア 【 男女平等が確保されていると思う市民の割合(男性) 】
 25年度目標値を達成 未達成 (24年度実績値と比較し成果向上・維持 24年度実績値と比較し成果低下)

成果指標イ 【 男女平等が確保されていると思う市民の割合(女性) 】
 25年度目標値を達成 未達成 (24年度実績値と比較し成果向上・維持 24年度実績値と比較し成果低下)

成果指標ウ 【 様々な社会参画の機会に男女の比率が適切になっていると思う市民の割合 】
 25年度目標値を達成 未達成 (24年度実績値と比較し成果向上・維持 24年度実績値と比較し成果低下)

成果指標エ 【 】
 25年度目標値を達成 未達成 (24年度実績値と比較し成果向上・維持 24年度実績値と比較し成果低下)

成果指標オ 【 】
 25年度目標値を達成 未達成 (24年度実績値と比較し成果向上・維持 24年度実績値と比較し成果低下)

成果指標カ 【 】
 25年度目標値を達成 未達成 (24年度実績値と比較し成果向上・維持 24年度実績値と比較し成果低下)

時系列比較(過去3ヶ年の比較) A(かなり向上)~E(かなり低下)
 D:成果がどちらかと言えば低下した

他自治体との成果実績値の比較 A(かなり高い)~E(かなり低い)
 C:他自治体と比べてほぼ同水準である

背景として考えられること
 について:男女平等や男女共同参画といった概念を取り巻く状況が日々変化する中で、市の施策がその変化に対応できていない可能性がある。
 について:同上
 について:同上

(3) 施策の全体総括(成果実績やコスト、見直しを要する事務事業等)

(1)の取組状況で示した多摩3市男女共同参画推進共同研究会の創設をはじめ、第四次男女平等推進計画に掲げている課題を中心に各施策の取り組みを実施した。また、今年度は女性の再就職セミナーを実施し、14名が参加している。なお、公民館主催の「男性の料理教室」や「女性の生き方を考える講座」も引き続き実施しており、前述のセミナーと併せて参加者同士の自主的な交流の場ともなっている。DV被害者支援体制については、スーパーバイザー研修や連携会議などの庁内連携体制に着手しており、今後も継続して実施する予定である。

6 施策の課題・今後の方向性

男女平等施策については、これまで未着手であったDV基本計画の策定について、平成27年度策定予定である第五次男女平等推進計画と併せて取り組んでいく。また、DV施策については、全庁的な体制をさらに整備し、組織的にDV被害者対応が行えるように関係各課との連携を強化する。なお、多摩3市男女共同参画推進共同研究会の今年度のテーマは「DV被害者支援」となっており、他市の事例等も参考にしながら施策を展開していく。その他、庁内を含め女性の活躍の場を拡大していくための施策にも重点を置いて実施する。